

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	37857
事業名	保育士等支援費					
評価担当課	所 属	子)子育て支援 保育推進課			電話番号	011-211-2346
施策名	多様なニーズに応じた保育サービスや、児童が放課後に過ごす安全					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	札幌圏における保育士の有効求人倍率が2. 21倍(令和6年1月時点)と、依然として保育人材不足が続いており、保育人材の確保や離職防止に向けて継続的に取り組む必要がある。
	事業内容(何を実施し)	①「保育人材支援センターさぼ笑み」において、保育士等の求職者と保育施設の事業者のマッチング支援を行う。 ②「さぼ笑み」の事業メニューの一つとして、「施設説明会・面接会」を開催し、両者のマッチングの機会を提供するとともに、実施後においても継続支援を行う。また、主に保育施設の管理職を対象とした「人材確保・定着化研修」を実施し、人材確保のノウハウ、離職防止のための業務改善策等を学ぶ。 ③「保育士等実態調査」を実施し、各種事業の立案等に向けた基礎データの収集及び既存事業の効果等を検証する。 ④「保育士資格取得支援事業」を実施し、幼保連携型認定こども園における幼稚園教諭の保育士資格取得のための補助を行い、保育教諭の人材確保を図る。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	保育士人材確保施策により、令和9年度まで毎年500人、合計2,500人の保育士等の就労支援を行う。
	他都市の状況	■セミナー等:横浜市等の多数の自治体で実施。■保育士・保育所支援センターの運営:全国64自治体が設置。■保育士等実態調査の実施:北海道等で実施。■保育教諭受講・代替雇上費補助:仙台市等で実施。■保育人材定着化研修事業:大阪市等多くの自治体で実施
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ■ 対象外

令和4年度決算額	43,341 千円	うち特定財源	16,228 千円	正規職員業務量	0.4 人工
令和5年度予算額	43,000 千円	うち特定財源	16,655 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度決算額	42,488 千円	うち特定財源	16,972 千円	正規職員業務量	0 人工
令和6年度予算額	45,000 千円	うち特定財源	18,302 千円	正規職員業務量	0 人工

指標	アウトプット活動指標1	保育士人材確保支援により就労する保育士等の数/年			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		687	500	919	950	950	950
	↓						
	アウトカム成果指標1				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	「保育人材支援センターさぼ笑み」の採用者数の増や「保育人材確保緊急対策事業」の補助事業追加(スポット支援員)等により、計画を上回った。					
	アウトプット活動指標2	保育人材支援センターさぼ笑みの年間相談件数			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		790	810	889	830	850	870
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	「保育人材支援センターさぼ笑み」の求職登録者の増などにより、年間相談件数が増加した。					

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	「保育人材支援センターさぼ笑み」の採用力強化、認知度向上に向けて、運営体制、広報のあり方を工夫していく。